

瀬戸伊太郎 土屋藤八 宮崎徳次郎 有木弥三郎 竹田長太郎 松尾増三 大森市郎	高垣安三郎 井口松之助 島村幾二郎 有本米吉 中沢仙太郎 有本重二郎 宮本米吉	福島國松 石田才太郎 新田輝吉 中野吉五郎 中野直二郎 杉本高彦 中野吉五郎
--	---	--

争議部報告

当初自然発生のため、本縣聯合会の争議も過去数年間の争議を終了組合員の意識の向上に伴い、漸く意識化するに至り計画的なる争議を起し根強き其の争議は封建の廢止を醒めぬ地主の牙城の根幹を揺動かし以て無産階級運動の一環として其の責務を果しつつあり。

日高地區争議

過去四年間日高百拾参町野の耕地を巡り「血と半獄を越え」土地を死守しを承け日高地區争議は今年度勃発し日高地區切山支部争議にて

百三十町歩を擁護した地主は必死の攻勢を農民の上は襲ひかけた。

一九三一年初頭、血戰準備

法廷戦は命懸け判決へと切迫して来た

現在、如き地主資本家本位の法律の下では農民の上は勝るべき判決は判り切つてゐる。土地を返還すべしとの判決下る共吾等は土地を死を以て「血と半獄を越え」死守如知りければならぬ。其の決意を固める為農協總會を組織し争議に付する最後の決意を促し一九三三年、大衆争議へと拍車を加へた。

立入禁止の猛襲

四月廿八日午前五時半突如稻原村切山耕地一町四段歩に對し地主協会加盟の塩ヤ村山田栄太郎外五名立入禁止を執行した。

立禁反對斗争

農民の大部分を頼み小作人から多額の小作料と果は其の耕地返しのシリ取らんとする立禁に對しては吾等は大衆的抵抗反對斗争を威ひ抜かぬならぬ之が才策として

(1) 立禁反對自衛團、植竹期の切迫と共に地主は一つにして最後の武器となる